

お役に立ちます!お知らせ & 募集特集



ご存知ですか?

愛知県防災ボランティアグループ登録制度

災害発生時、応急措置の実施に必要な人員が不足した場合において、県民の皆さまのご協力のもと、迅速かつ的確に応急措置を実施するために「愛知県防災ボランティアグループ登録制度」を設けています。

ご協力いただける団体の方は、下記問い合わせ先までお願いします。

あいち防災協働社会推進大会 あいち防災フェスタ

同時開催

防災&ボランティアフォーラム

平成23年11月13日(日) 午前10時30分～午後4時

会場 愛・地球博記念公園 (モリコロパーク大芝生広場)

※詳細が決まり次第、防災局のホームページ等でお知らせします。

お問合せ/愛知県防災局防災危機管理課 電話052-954-6190・6191
ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/bousai>

お知らせ 津波・地震防災訓練の実施

愛知県・南知多町 津波・地震防災訓練

平成23年10月29日(土)午前

訓練地域 南知多町師崎地区一帯

主催・愛知県及び南知多町
※気象状況などにより、訓練を中止する場合があります。



お知らせ 総合防災訓練の実施

平成23年度愛知県・新城市総合防災訓練 「地域防災力の向上をめざして～自らのまちは自ら守る～」

平成23年8月28日(日)午前9時から

メイン会場 ふれあいパークほうらい

サブ会場 新城市立鳳来中学校
新城市立鳳来西小学校

主催・愛知県及び新城市
※気象状況などにより、訓練を中止する場合があります。



お問合せ/愛知県防災局災害対策課 電話052-954-6149

あなたの街に

「KIDSぼうさいキャラバン隊」がやってくる!

お子様向け



オリジナルぼうさいアニメ上映会

「防災ナマズン」クイズショー・ミニゲーム

「防災ナマズン」着ぐるみ撮影会

くわしい日程はKIDS防災キャラバンWEBへ<http://aichi-bousai.com>

愛知県防災学習システムに防災イベントカレンダーを追加!

県民の皆さまがインターネットにより、東海・東南海地震が発生した時の、お住まいの地域の予想震度や液化の危険性を知ることができたり、家屋の情報を入力して大地震時のご自宅の様子をシミュレーションすることができ、「愛知県防災学習システム」。

平成23年4月より、県や市町村、防災関係機関が実施する防災イベント情報をカレンダー形式で確認できる「防災イベントカレンダー」機能が追加されました。

ぜひ、各種防災イベントに参加していただき、



愛知県防災学習システム ホームページアドレス
<http://www.quake-learning.pref.aichi.jp/>

防災クイズ

津波のおそれがあり避難する時は「より遠く」と「より高く」、どちらを目指すべきですか?

ヒント:答えは記事のどこかにあります。

応募要領
ハガキ又はメールに①クイズの答え②氏名③年齢④性別⑤〒住所⑥電話番号⑦あいち防災通信をご覧になった場所⑧今後取上げてほしいテーマ⑨ご意見・ご感想を明記のうえ、

ハガキ/〒460-8501 (住所記載不要)

愛知県防災局防災危機管理課「あいち防災通信防災クイズ係」

メール/bosai@pref.aichi.lg.jp 件名「あいち防災通信防災クイズ係」

までお送りください。(締切:平成23年11月25日(金)必着)

正解者の中から抽選で10名様に、「緊急避難持出ポーチセット」をプレゼントします。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※いただいた情報はより良い紙面作りのためにのみ使用します。



あなたの町の自主防災会の取組について、あいち防災通信や愛知県防災局のホームページで紹介してみませんか?

応募していただいた自主防災会には、地震防災に関する様々な知識を学ぶことのできるDVD「あっ!どうする?そうなる前の防災対策」10枚セットをプレゼント!

応募要領
ハガキ又はメールに①自主防災会名称②連絡者氏名・〒住所・電話番号・メールアドレス③自主防災会の主な活動内容を明記のうえ、

ハガキ/〒460-8501 (住所記載不要)

愛知県防災局防災危機管理課「あいち防災通信自主防災会紹介係」

メール/bosai@pref.aichi.lg.jp 件名「あいち防災通信自主防災会紹介係」

までお送りください。応募していただいた自主防災会連絡者へ、防災危機管理課よりご連絡いたします。応募用ホームページもあわせてご覧ください。

http://www.pref.aichi.jp/bousai/zisyubou_shoukai/oubo.html



あいち防災協働社会推進協議会から



愛知県立大学情報科学部 小栗宏次教授

今回は、愛知県立大学情報科学部教授であり、あいち防災協働社会推進協議会アドバイザーでもある小栗宏次さんにお話を伺います。まず、防災と情報通信技術の関係について教えてください。

「防災」として「情報通信技術」は不可欠な存在と言えます。最近のコンピュータシミュレーション技術の高度化は、台風の接近コースの予想であったり地震による津波の到達時間やそ

の規模など、短時間でより正確な災害予想を私たちに提供してくれるようになっていきました。またインターネットに代表される情報ネットワークの普及は、今どこで何が起きているかを知ることができ、防災には極めて重要なシステムとなってきました。

最近では携帯電話やスマートフォンなどが普及してしまいが、こうした携帯情報端末の活用について教えてください。

「情報」そのもので人の「命」を守ることは難しいかもしれませんが、災害の前後において、情報を有効に活用することが「安全」「安心」につながることは言うまでもありません。たとえば今回の東日本大震災においても、安否確認や必要物資の調達

など、被災地からの情報発信が支援者のネットワークにつながり、多くの支援の手が差し伸べられています。重要なことは「つながる手段」を確保し、適切な情報を発信するということだと思います。震災後、テレビなどのメディアでは伝えることの出来ない現地の情報が、ツイッターやソーシャルネットワークを利用して日々刻々と情報交換されており、それを見た多くの人が、それぞれの立場でアクションを起こそうとしているのです。

災害と情報について今後必要な事はありますか?

大事な事は3つあると思います。1つは、情報リテラシーの向上です。せっかくの情報システムも活

用できなければ意味がありません。日ごろから情報機器に触れ、災害のある無しに関わらず情報ネットワークにより人とつながる訓練をしておくことです。

2つ目は、非常時に備え、バッテリーの充電機能など、いざというときでも情報機器が使えるように備えることです。避難所などにも、こうした情報端末の充電機能の整備等が期待されます。

そして3つ目は、より良いシステムの開発です。現在の情報システムは、まだまだ改善の余地があり、誰でも使いやすい状態にあるとは言えません。開発者と利用者が叡智を結集し、本当に使いやすいシステム開発が求められています。